



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ゴルギアス『ヘレネ賛』に関する文献学的研究：序文、校訂本文及び注釈〔論文内容及び審査の要旨〕
Author(s)	大中, 幸乃
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(文学)
Dissertation Number	甲第11150号
Issue Date	2013-12-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/54657
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	doctoral thesis
File Information	Yukino_Ohnaka_abstract.pdf, 論文内容の要旨



学位論文内容の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（文学） 氏 名：大 中 幸 乃

学位論文題名

ゴルギアス『ヘレネ賛』に関する文献学的研究：序文、校訂本文及び注釈

本論文では、「はじめに」で本論文の研究上の意義が述べられた後、第1章「校訂序論」の第1節では、『ソクラテス以前哲学者断片集』の中のゴルギアスに関する章を主たる資料として、ゴルギアスの生涯・人となり・著作に関する簡潔な整理が行なわれている。次に第2節では、ルネサンス期以来行なわれてきた『ヘレネ賛』の校訂の歴史が主に Donadi の研究に拠りつつ回顧され、その文献学的研究史の中で次第に A 写本（ロンドン、大英図書館所蔵、Burneianus 95）と X 写本（ハイデルベルク、大学図書館所蔵、Palatinus Graecus 88）が重要視されるに至った経緯が述べられている。そして第2節の補足として散逸した写本への言及が第3節で行なわれた後、第4節では、写本の読みをなるべく尊重し、中でも基本的に A 写本と X 写本を重視するが、場合によってはそれ以外の写本（本論文の言う「中世劣位写本」）の読みを採ることもあるという、本論文の校訂の基本的方針が述べられている。

第2章では、21 の章から成る『ヘレネ賛』のギリシア語本文の批判的校訂版（すなわち、異読一覧 apparatus criticus を備えた本文）と、同校訂版に対応した日本語訳とが対観形式で示されている。

第3章では、第2章で提示されたギリシア語本文と日本語訳に即して、21 の章の各々について詳細な注釈が施されている。本論文の主たる目的がギリシア語本文の再校訂にあることに鑑みて、本文の読みを正当化するための文献学的な注釈がとりわけ多く見られることが本注釈の特徴だと言えるが、その他、文学的・思想的側面への注釈も、主に MacDowell と Spatharas の注釈を参照しつつ著者自身の見解も織り交ぜて施されている。

「おわりに」では、本論文で著者が目指したこととなお残された課題とについて、簡潔な言及が行なわれている。

参考文献一覧では、これまでに刊行された『ヘレネ賛』校訂版、先行研究（二次文献）、本論文で参照されたギリシア語著作の日本語訳、辞書・文法書等参考書目に区分して、参考文献が提示されている。